

120%活用のヒント

年3回お届けしている『これからの幼児教育』。園運営や保育の質の向上に少しでもお役立ただければと願っております。そこで今回は、編集部より本号の活用のご提案と、全国の幼稚園・保育所の園長先生から寄せられた前号（特集：園での学びの芽生え）の読者ハガキの声から一部をご紹介します。

こんな使い方はいかがでしょうか？

園長先生が最後まで目を通して、全体を把握する

保育者への情報発信に活用

- 例えば、
- 保育者に回覧する。
 - 必要部分をコピーして、保育者に配布する。
 - 必要部分をコピーして配布し、職員会議や園内研修で話し合う。

さらに! 園長先生が、保育者に特に伝えたい点や考えてほしい箇所に線を引いたり、コメントを書き添えればより効果的!

保護者への情報発信に活用

- 例えば、
- 園だよりで紹介する。
※出典をご記入ください。
例) 出典:ベネッセ次世代育成研究所『これからの幼児教育 2011 夏号』
 - 必要部分をコピーして、保護者会で配布する。
 - 必要部分をコピーして配布し、保護者会で話し合う。

さらに! 園長先生が、保護者に伝えたい点や考えてほしい箇所にチェックを入れておけばより効果的!

※冊子はホームページからもダウンロードできます。また、追加発送も受け付けております(ただし、数に限りがあります)。詳しくは巻末をご覧ください。

コーナーごとにこんな使い方もできます

第1特集

▶2ページ~

◎園長先生が園運営の参考資料として活用されるのはもちろんのこと、園内の保育者間で回覧したり、園内研修や職員会議の資料としてお役立てください。特に重要部分にはアンダーラインを引いたり、イラストや図解で説明したりしています。その部分を重点的に共有すれば短い時間でも効果的に情報の共有や研修を行えます。

データから見る幼児教育

▶12ページ~

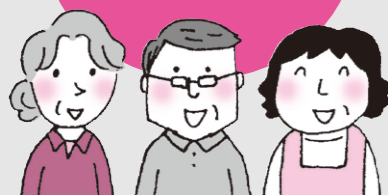
◎園内研修などで、子育ての実態や保護者の意識を把握するための参考や、保護者会や園だよりの情報発信の材料としてもお役立てください。

第2特集

▶17ページ~

◎まずは指導的な立場にある先生がご覧ください。また、この資料をもとに、園内で職場を活性化するアイデアを募り、自園に合った方法を考えることもよいでしょう。記事のアイデアを実践していただくことや、自園の取り組みにさらに磨きをかけることにもおすすめです。

全国の 園長先生から 寄せられたご感想



- 現場に則した事柄をとり上げられ、重要ポイントにアンダーラインがあってわかりやすい。この冊子を活用して、職員間の専門性の向上とコミュニケーションを図りたいと思います。
- 「現場のみなさんへ」に大変勇気づけられ、がんばろう!!という気持ちになった。
- 保護者の気持ちがデータを通してよく理解できました。担任の保育士だけでなく、全職員に研修していきたいと思いました。
- 本誌に掲載されたデータを基にすることで、保護者に対して話をする際、より自信が持てるようになりました。
- 保護者、とくに母親の意識が具体的な数値で表されていて、よく理解できます。園からのサポートを考えるうえで参考になっています。

本誌は
無料です

ベネッセ次世代育成研究所の発刊物は、 ご希望に合わせて園へお届けします

※ただし、複数冊をご希望の場合は、岡山県からの宅配料がかかる場合がございますので、予めご了承ください。

お
手
続
き
方
法

ベネッセ次世代育成研究所ホームページ、もしくは、お電話でお申し込みください。通常はお手続き完了から**1週間~10日程度**でお届けします。

ホームページ

インターネットで検索してください。▶▶▶ <http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/>

ベネッセ次世代育成研究所

◎本誌はもちろん、乳幼児の子育てに関する調査や、幼稚園長・保育所長を対象とした調査の報告書など、ベネッセ次世代育成研究所の発刊物のお申し込みと閲覧(PDFファイルのダウンロード)が可能です。お急ぎの場合は、インターネットのご利用が便利です。



お電話

0120-933-964 通話料無料

受付時間◎10:00~17:00(日曜・祝日は除く)
※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。
※携帯電話・PHSからもご利用できます。
※上記番号に接続できない通信機器・回線の場合は086-214-6337へおかけください(ただし通話料がかかります)。

お申し込みの際、**必ず、下記の内容をお知らせいただきますようお願いいたします。**

- ①お届け先の住所・ご所属・お名前
- ②お届け先の電話番号
- ③ご希望の冊子名(例:●●●●年●号とお知らせください)
- ④ご希望の冊数
- ⑤冊子を知ったきっかけ
- ⑥ご希望の理由(活用方法など)

ご注意事項 ・ご記入いただいた内容に不備がある場合は、送付することができませんのでご了承ください。
・報告書の在庫数には限りがあるため、送付を致しかねる場合、または、送付までにお時間をいただく場合があります。

発刊物のご紹介



これからの幼児教育

※2011年春号までの名称は「これからの幼児教育を考える」

2011年 春号
特集

園の遊びがもたらす
幼児期の学びの芽生え

A4判 24ページ

◎主な記事の内容

- 2010年秋号 特集 **特別なニーズをもつ子に寄り添う保育**
- 夏号 特集 **家庭と連携した食育活動のあり方**
- 春号 特集 **保護者の成長を促す園の支援**
- 2009年秋号 特集 **保育者の資質を高める園内研修**
- 夏号 特集 **幼保一体化と新しい幼児教育**
- 春号 特集 **幼小連携に向けて現場が取り組むべきこと**
- 2008年秋号 特集 **幼稚園教育要領改訂を日々の保育にどう生かす?**
- 夏号 特集 **幼稚園教育要領改訂のポイント**

◎その他、幼児教育・保育に関する発刊物



第1回
幼児教育・保育についての
基本調査報告書
(幼稚園編・保育所編)

◎全国の幼稚園・保育所を対象に、幼児教育・保育の実情と課題を調査から明らかにしました。

B5判 160ページ



幼児の遊びにみられる
学びの芽

◎4~5歳児の遊びの事例を59サンプル収集し、遊びに含まれる学びの可能性や保育者のかかわりを分析しました。

A4判 72ページ



保育所での
子どもの発達と
保育のポイント

◎0歳から就学前までの子どもの成長発達と保育者のかかわりや、幼児の言動の意味と援助のポイントをまとめました。

A4判 112ページ

編集後記

大豆生田先生のお話で印象的だったのは「園はブラックボックス」という言葉。4歳の息子の保護者としても、先生方が精一杯、子どものために保育をされていることはすごく伝わってきます。それに加えて、どのような気持ちやねらいで保育をしているか、発信してもらえると親としても親近感がわき、保育内容にも興味を持てると思いました。(橋村)

「これからの幼児教育」2011夏号 2011年5月20日発行

発行人 新井 健一
編集協力 (有)ベンダコ
後藤 憲子 二宮 良太
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビルディング
企画・制作 ベネッセ次世代育成研究所
印刷・製本 共立印刷株式会社

次号予告

2011 Autumn 秋

これからの幼児教育

次号は**2011年9月下旬**発行(予定)
年3回の発行(予定)です